

市民シンポジウム

第2回 麴町サミット =結核の研究開発と日本の貢献= 開催のご案内

このたび結核の研究開発における日本の貢献について考える市民シンポジウム「第2回 麴町サミット =結核の研究開発と日本の貢献=」を開催します。

世界三大感染症の一つである結核は、いまだ年間130万人が命を落とす深刻な疾患です。結核の蔓延防止には、予防・早期診断・治療が重要です。近年日本では、より高い予防効果を発揮するワクチン、結核高蔓延国でも利用可能な結核診断法、より効果的な治療薬の研究開発がさかんに行われており、世界で普及する期待が高まっています。

本シンポジウムでは、結核関連の研究開発における最近の成果を紹介し、結核を世界からなくすために日本企業や日本の市民社会の取り組みについて共有します。また日本発の技術のさらなる発展のために、日本政府や私たち一人ひとりに何ができるかを考えます。

※武見敬三参議院議員が基調講演されることとなりました

日時: 2013年11月27日(水) 18時30分~20時30分 (18時00分開場 軽食をご用意しております)

場所: ホテル・ルポール麴町(東京都千代田区平河町2-4-3)

主催: (特活)日本リザルツ

協力: (認定特活)ストップ結核パートナーシップ日本、(特活)アフリカ日本協議会、動く→動かす、(認定特活)ミレニアム・プロミス・ジャパン、(特活)マラリア・ノー・モア・ジャパン

参加費: 無料(シンポジウムでの軽食やプロジェクト費用の補てんのため、参加者の皆様にカンパをお願いすることがあります)

参加お申し込みは <http://p.tl/6Fu3> よりお願いいたします (登録締切: 11月26日(火) 正午)

プログラム

総合司会 田辺功

(敬称略)

18:30-18:35	開会の辞	特定非営利活動法人 日本リザルツ
18:35-19:55	パネルディスカッション/ 質疑応答	モデレーター: 田辺功(認定特定非営利活動法人 ストップ結核パートナーシップ日本 常任理事/元朝日新聞編集委員) 多剤耐性結核(MDR-TB)経験者の立場から 成瀬匡則(認定特定非営利活動法人 ストップ結核パートナーシップ日本 理事) 結核診断システム「LAMP法」開発者の立場から 納富継宣(栄研化学株式会社 執行役兼研究開発統括部生物化学第二研究所長/医学博士) 新規結核ワクチンの研究開発に取り組む立場から 保富康宏(独立行政法人 医薬基盤研究所 長類医科学研究センター センター長) 日本の医療技術の世界展開を支援する立場から 鹿角契(一般社団法人 グローバルヘルス技術振興基金 :GHIT Fund 戦略担当部長) 三大感染症問題に取り組む市民の立場から 稲場雅紀(特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 国際保健部門ディレクター) 小沼士郎(外務省 国際協力局 国際保健政策室長) 山内和志(厚生労働省 大臣官房国際課 国際協力室長)
19:55-20:15	基調講演	武見敬三参議院議員
20:15-20:25		質疑応答
20:25-20:30	まとめ	石川信克(公益財団法人 結核予防会結核研究所 所長)
	閉会の辞	田辺功

※プログラムは変更になる可能性があります。

お問い合わせ先:

特定非営利活動法人 日本リザルツ 担当: 里実・新里

Tel: 03-6268-8744 Fax: 03-3597-3448 E-mail: satomi.suzuki@resultsjp.org

RESULTS
the power to end poverty

武見敬三参議院議員 プロフィール



1951年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。同大学法学研究科修士課程修了。東海大学政治経済学部で助手と助教授を経て95年、教授に就任。同年参議院議員に初当選（現在4期目・自由民主党・東京選挙区）。外務政務次官、厚生労働副大臣等を歴任。現在、参議院国の統治機構に関する調査会長、自民党総務会副会長。日本国際交流センター シニア・フェロー。東海大学教授、慶應義塾大学医学部客員教授。

ホテル・ルポール麹町 地図

「電車でお越しの方」



「お車でお越しの方」 首都高速霞ヶ関ランプ出路図



場所: ホテル・ルポール麹町 3階 会議室「ガーネット」

・住所: 東京都千代田区平河町2-4-3

・行き方: 東京地下鉄「永田町」駅5番、9b番出口より徒歩5分、
麹町駅1番出口より徒歩3分

・地図: <http://www.leport.jp/map/access.html>